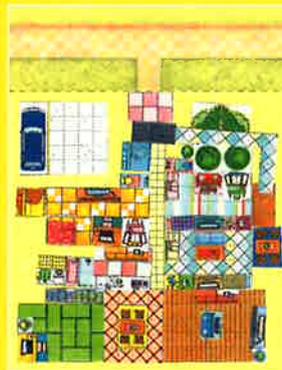
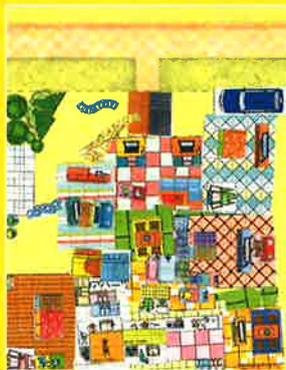


衛

建築のお仕事体験
「パズルでお部屋をかんがえよう」
(江別旧ヒダ工場イベントにて) ▼

支部だより 2016. No. 1



新役員・委員長 就任挨拶

支部長就任挨拶

支部長 長谷川 敏 文



4期7年の副支部長在任の後、2016年より札幌支部長を仰せつかりました。執行役員会の若返りを一気に図るために、40歳代の針ヶ谷、菊地の両君を副支部長に据え、また、西岡総務委員長には副支部長の役目も担って頂くこととしました。副支部長であった池田さんには新任の事務局長として、私の性格や等々のことをよく理解していて信頼できる7名体制で支部事業を執行していきます。

鈴木前支部長には、社会・建築業界の変化著しい4年間を通して、今後の札幌支部活動を見定める土台作りへの牽引をしていただき感謝の念に堪えません。その成果を次の世代にしっかりと「繋ぐ（つなぐ）」ことが役目と心得て、札幌支部のいきいきとした活動の推進のために尽力したいと思います。

情報委員会からは長めの挨拶文との要請でしたが、長いと読みたくなくなるのは私も同じです。昭和57年に入会していますので会員の期間が長いのもさることながら建築業界にも長くいますので、会員の皆様とはどこかしらでお会いしているものと思います。ぜひ、ご挨拶を兼ねて今後の支部活動について直接お話ができればと思っています。

札幌支部の活動のベースは「タイムリーなものはタイムリー」に「基本的なものは繰り返し」、そして「会員のスタンス」に立って、情報提供や様々な会員のニーズに応えた内容のある事業を躊躇なくどんどん推し進めることです。

1月末の札幌支部総会・懇親会でお話させていただきましたが、青年委員会の力強い行動力・団結力と酒力には目を見張り、女性委員を中心とした丁寧さがほとぼる「住教育出張講座」も今後の支部単独事業としての可能性を強く感じさせてくれます。この勢いのある活動に各実行委員会も便乗していきましょう。会員の皆さんが各種のイベントに参加しやすくなるような仕込みを工夫して、会員同士の顔が間近に見えるような会にしたいと思います。

みなさん建築士会活動で 社会を明るくしましょう

副支部長 井上 勝己



平成28年通常総会で再び副支部長を拝命しました。引き続きよろしくお願いたします。

前期は、まちづくり委員会担当として委員会皆様の活動に直に接し活発な活動を拝見することができました。

特に景観バスツアー、まちづくりフォーラムなどの準備の手際良さと委員会のチームワークに感心いたしました。景観バスツアーは新たな札幌の街の再発見ができました。

まちづくりフォーラムは、地域のまちづくりリーダーと地域の建築士がどう関わるかが話題になりました。『まちづくりはひとづくり』が印象的でした。

現在、建築士会の会員数は減少傾向にあり会員数増強にいろいろな工夫と対策をしています。

札幌支部会員数は北海道建築士会の約20%（約800人）を占めており元気な会員がたくさんいらっしゃいます。

札幌支部が元気なことは北海道全体を明るくする原動力になると思います。青年委員会、女性小委員会の社会と関わる活動（子供たちに夢を与えるような事業）にその一端が見えます。

その反面ベテラン会員の皆様の活動の場が少ないのが気になります。是非、後輩会員へ技術の伝承をするために修羅場や失敗の経験等で身につけたノウハウを伝授いただける活

動を期待いたします。

建築士会の後継者づくりはベテラン会員皆様の重要な使命ではないでしょうか？

価値ある諸先輩の経験が未来に活かれますようによろしくお願いたします。

昨年は免震ゴム・杭データー偽装、国立競技場建設等で建築業界の暗い話題が1年中世間を賑わせ、消費者にまた不安を与えてしまいました。

消費者の安心・信用の回復には皆で知恵を出し合い建築士会のブランド力を高めることだと思います。

みなさん建築士会活動で社会を明るくしましょう。

副支部長再任ご挨拶

副支部長 内海 純一



役員改選にあたり、2期目の副支部長を仰せつかりました。前期は事業委員会・情報委員会を担当させて頂きましたが、両委員会ともにチームワークが良く委員長に助けられながらの2年でした。職域も職場も違う会員建築士の行動力・団結力に改めて札幌支部の力を見せて頂きまし

た。今期は交流委員会・情報委員会の担当になりましたので、宜しくお願いたします。

また、毎年恒例の「建築士祭りビールパーティー」を運営するお祭り委員会の委員長を兼務いたします。会場をホテル札幌ガーデンパレスに変えて毎年盛況なパーティーですから、

今年も全委員会のご協力を頂きながら7月1日に向け準備をいたします。ビールの美味しい天気になってくれる事を願い、会員増の一役を担えればと考えています。会員の皆様、今期も宜しくお願致します。

副支部長新任、総務委員長再任に当たり

副支部長／総務委員会 委員長 西岡 誠



このたび長谷川支部長より副支部長を拝命し、また総務委員長に再任

されました。総務委員長としては3期目を迎えることとなります。今後

とも会員の皆様方のご助力を賜ればと思いますとともに、私自身次の

で表現するに辺り、他のネーミングはないかと思ったりもしましたが、ストレートに「女性」と表現することが結

局は分かりやすく良いのではないかなと最近では思っています。ネーミングから参加を躊躇される方もいらっしゃる

るかもしれませんが、その辺りは気にせずお気軽にご参加下さいね。



委員長再任のご挨拶

まちづくり委員会 委員長 細 畑 光 明



2年間、まちづくり委員長をやらせていただきまして、有難うございました。

再びご指名を頂きまして、委員長をさせて頂く事となりました。

どうぞよろしくお願いいたします。

2期目にあたり、皆さまのご助力をいただき、精一杯がんばるつもりです。

委員会の活動は今年も、景観バスター・セミナー・ワークショップ等内容の濃いものを、企画中がございます。皆様のご参加、ご協力のほど、お願いいたします。

まちづくりに関し様々な課題がございます。

- ・商店・家屋・道路が、長い期間により劣化し、時代にそぐわなくなっている。
- ・高層建築物などによる日照や、多量の交通量による公害など環境が悪化している。
- ・防犯対策が不十分である。
- ・企業統廃合による空地の有効利用。
- ・公園や病院など、健康に寄与する施設整備。
- ・芸術・遺跡など、文化の保護。

- ・障害者や高齢者に向けた、交通施設や建築物の配慮が不十分である。
- ・居住地域・商業地域・工場地域・文化地域・緑化地域など、ゾーニング。
- ・建築物・広告などの高さや色による景観。

まちに暮らすすべての人々が幸福な人生を送れるような環境を整えることが出来ますように委員会の活動を通して、少しでも係っていただければ良いと思います。

5



交流委員長再任挨拶

交流委員会 委員長 平 井 香 希



この度、交流委員長を再任致しました、平井です。今期で2期目となりますが、初めて委員長という大役を仰せつかり、多くの方々にご支援ご指導を受け、助けられながらの1期目でしたが、今期からは自分始動で細かな気配りや、どうしたら、たくさんの方々に参加して楽しんでも

らえるかなど、周りの方々の意見を聞くと共に、自分のオリジナルな発想を合せ、例年とは少し違う委員会活動を進めて行きたいと考えております。

昨年、実施出来なかった見学会を今期も計画しており、なんとしてもこのイベントを成功に終らせたい気

持ちで委員全員が一丸となって進めている状態です。

皆様に喜んでもらえるイベントとなるよう、たくさんの方々に参加して頂けるよう、気を引き締めて今期の事業に取り組んで行きたいと思っております。まだまだ若輩者ですが、どうぞ宜しくお願い致します。



事業委員会のご紹介と 委員長就任のご挨拶

事業委員会 委員長 松 本 純



今期より事業委員長を務めさせて頂きます、松本と申します。青年委

員長を二期四年務めさせて頂きましたのでご存知の方もいらっしゃる

存じますが、改めましてどうぞよろしくお願い致します。これまででは

青年ということで、主に青年層を主体とした事業を行ってまいりましたので、内輪の緊張感の少ない部分も多少ありましたが、諸先輩方がいらっしゃる委員会で経験のない私が委員長と資格者の中から建築士会への入会者が増えることも期待しております。菊地前委員長時代から進めている異業種交流事業は、理学療法士・作業療法士の方々と交流を深めていく中で、コラボレーションして見学会やワークショップなどを進めていきたいと考えております。

情報委員長再任のご挨拶

情報委員会 委員長 森 田 ゆう子



また新規事業の計画も進めております。建築業界、職人さん達の仕事、建築士会の存在が広く一般の方々に周知してもらえようなものとして考えており、具体的になりましたらら委員の皆様にもご協力を賜りたいと存じます。委員の皆様は、より有益な情報や経験を得ていただく場を設けていきたいと考えておりますので、その他セミナー等のフィードバックやご要望がございましたら、私までご連絡ください。

昨年、一昨年に引き続き、情報委員長を再任させていただく事となりました。

前期初めての情報委員長で不安もありましたが、執筆者の皆様、各委員会の皆様のご協力のおかげで、年

また、毎回の会議も和気あいあいな

とした雰囲気、酒豪揃いの情報委員

員会は会議の後の第2会議もコミュニケーションとなり、チームワーク良く活発な委員会活動を進めること

建築士試験受験者講習会の実施を行い、建築士資格取得の困難さ、受験者数が減少している現在の状況に寄与出来ればと考えており、受験者・合格者の中から建築士会への入会者が増えることも期待しております。菊地前委員長時代から進めている異業種交流事業は、理学療法士・作業療法士の方々と交流を深めていく中で、コラボレーションして見学会やワークショップなどを進めていきたいと考えております。

青年委員会新任のごあいさつ

青年委員会 委員長 西田 康人



「青年の息吹、次世代につなぐ」今年より札幌支部青年委員長を務めさせて頂きます西田と申します。最初、私が初めて建築士会に参加したのは平成28年秋の構造セミナーとその懇親会です。そこで感じたの

はその場とても楽しい雰囲気、躍動感、行動力。ただただ脱帽したのを鮮烈に覚えております。それから約4年半、早いものですね。話を青年委員会の方針に移します。まず、先程にも触れましたが諸先

輩方が楽しました「楽しい」雰囲気と、「スキルアップ」「地域貢献」「仲間づくり」のキックアッププログラムを大切にしていきたいと思っております。そして、次世代に「つなぐ」チャレンジを2年間継続的にして行きた

いとも思います。これからを担う現
青年委員の方々に向けて、無理の無
い程度に自ら自主的に企画実施運営
に携わる環境を整えたいと思います。

その具現化の為、各委員が考えた
企画、セミナーを極力ピックアップ
し、担当の一極集中を出来るだけ避
け、皆で楽しく実行する機会を増や
したいと思います。

今年度の予定としましては、まず、
例年通り毎月1回委員会を開催しま

す。そして、1月の資格学校祝賀会
2件訪問、3月のウェルカムセッシ
ョン(新規合格者向け交流会)に続き、
4月下旬に札幌支部開催道央ブロッ
ク協議会にてパイル工場見学予定、
スキルアップセミナーとして塗装セ
ミナーを11月に仮決定しております。
支部要請のお手伝いにつきましては
出来る限り継続して行きたいと思
います。

企画では「パズルでお部屋をかん

がえよう」を継続事業として他団体
との交流も視野に入れたと思います
です。

最後に、支部長以下役員の皆様方、
支部理事、事務局の皆様はもとより、
支部内様々な運営に携わるの方々のご
指導を仰ぎながら、本部青年委員と
の連携も密にし、青年委員長として
も支部会員の一人としても精進し続
けたいと思いますのでどうぞよろし
く御願います。

会員増強特別委員会委員長再任挨拶

会員増強特別委員会 委員長 池田 浩 司



この度、札幌支部の役員改選期に
あたり、前期につづき会員増強特別
委員会の委員長を継続させて頂くこ
とになりました。会員増強特別委員
会は会員の退会防止と新規会員獲得
を図るため平成26年末に立ち上がり、
昨年は会員からの様々な会員増強ア
イデアを整理検討してまいりました。
今年度は、これらの会員増強につな
がる様々なアイデアを実行に移して
いきたいと思っております。

皆様も感じているように少子高齢
化の更なる進行とともに建設業界を
とりまく環境の変化により若年層の
建築離れも進んでおります。これに
より建築士資格の取得を目指す若者
も減少傾向にあり、その結果建築士
会への若年層の入会が激減している
状況であります。建築士会札幌支部
の年齢構成を見ますと会員数約
830名中(平成27年5月現在)、若年
層世代である20歳代・30歳代の合計

が僅か70数名(8.6%)、そして65歳
以上の高齢者世代では約140名(約1
7%)であり若年層の倍を占めてい
る状況です。この数字は若年層の建
築士会への入会低下と高齢者世代の
脱会増加が予想されることを意味し
ます。

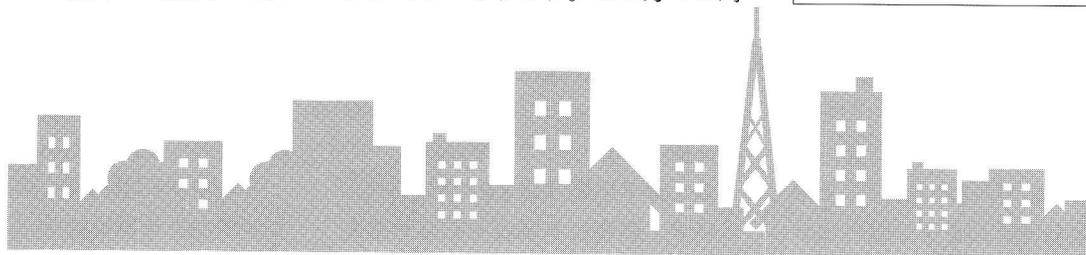
当委員会では会員増強を①新規入
会者増(若年層入会増と非会員入会
増)と②退会防止(現会員退会防止
と特に高齢者退会防止)という定義
付けをしております。

別なデータを見ても有資格
者中の建築士会入会率については約
30%程度(注:地域格差あり)であ
ります。これは少子高齢化時代とは
いえ、まだ約70%の方々が非会員で
あることを示しています。また前述
のデータの如く、65歳以上の方の多
くは業務の第一線から退くことが予
想され、その貴重で様々な職能が活
かされなくなります。この方々に対

する会員として在籍して頂ける有意
義な活動の場の創出も重要と考えて
います。

以上のように様々な方に対する入
会促進と退会防止策を実施してい
こうと思っておりますが、一番大切な
ことは、魅力ある建築士会になるこ
とであります。魅力ある建築士会に
なるには各委員会が実施している事
業をもっと高めていく必要があります。
会員増強特別委員会では、各委員
会と連携を図るとともに皆様方
のご意見やご協力を頂きながら、この
魅力ある建築士会となれるよう様々
な仕掛けづくりをしたいと思いま
す。私も委員長として微力ながら邁進
していきたいと思っておりますので、今後と
もどうぞよろしくお願い致します。

池田委員長は今年より事務局長
(新任)と兼務となっております。



建築士会ビール祭りの 当選旅行を終えて

日本高圧コンクリート株式会社 吉川 尚 哉

この旅行に当選して、私たち家族はとても舞い上がりました。突然、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)に行けるようになって、本当に夢のようでした。一泊二日のプランを二泊三日に延泊し、子供達が行きたがっていたアンパンマンミュージアムにも行く予定を立て、出発の日を楽しみにしていました。

一日目は、海遊館。初めは怖がっていた子供たちも、慣れてくると大興奮。巨大な水槽にまでへばり付く始末でした。特にジンベイザメやエイ、マンボウからは離れませんでした。さかなクン並に魚好きな2歳の息子にジンベイザメを見せてあげる事が出来て良かったです。

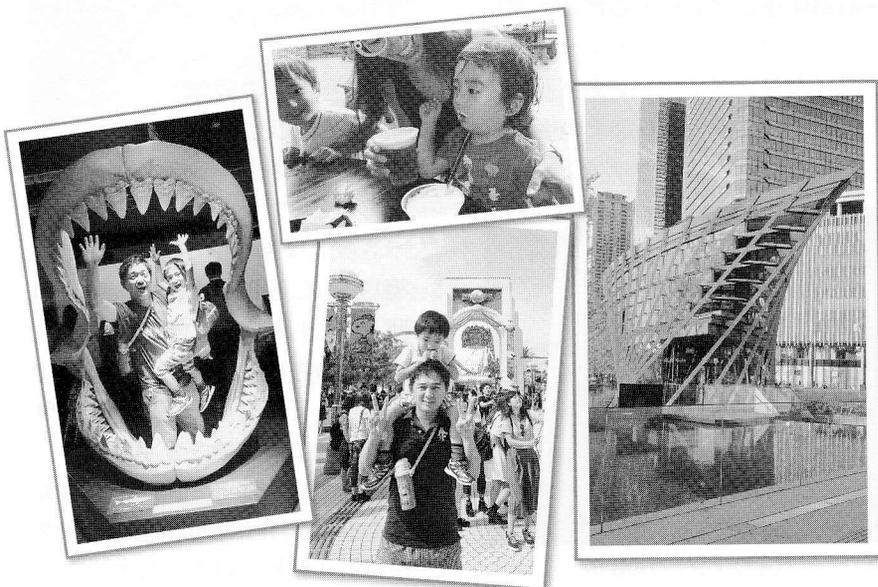
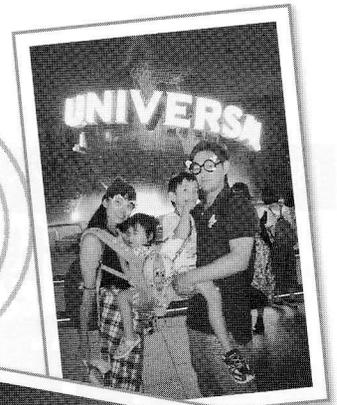
二日目は、楽しみにしていたUSJ。平日にもかかわらず朝から大行列でしたが、それほど時間が掛からずに入場することが出来ました。子供たちメインで楽しめたかったので、ワンダーランドに直行です。スヌーピーやセサミストリート、ハローキティなど

のエリアで乗り物に乗ったり、スヌーピーの顔型のおまんじゅう等を食べた子供たちは常に笑顔です。乗り物では、次男は身長制限があり乗れなかったのですが、長男は何度も何度も乗っていました。乗り物以外では、小さい子供たちが遊べるセサミストリーの室内エリアもあり、そこでは子供たちのテンションが上がりすぎて、移動したくない!!と。もっと遊ばせてあげたい気持ちはあったのですが、時間に限りがあるので、ハリー・ポッターのエリアに移動しました。私も初めてのハリー・ポッターでしたが、街並みが素敵で感動！まさに映画そのものでした。そして、ハリー・ポッ

ターと言えばバタービール！家族みんなで乾杯！テンション上がって人数分頼んでしまいましたが、甘すぎて大失敗でした(笑)。他にも、妖怪ウォッチのイベントにも参加できて、子供たちは大満足の様子でした。旅行に行ったのが9月ということで、ハロウィン開催期間中だったため昼間のパレードも大迫力でした。夜のパレードは時間も遅く子供たちも疲れていたため、名残惜しい気持ちが90%くらいありましたが、ホテルに向かいました。

延泊した三日目は、子供たちがずっと行きたがっていたアンパンマンミュージアムに行くため、神戸に移動です。念願であったアンパンマンミュージアムに行けるとあって、移動の電車内をルンルンで乗っている子供たちの姿が可愛かったです。USJに続き夢の国に入った子供たちは、夢中で遊んでいて、あっという間に帰る時間が近づいてきました。「また来ようねっ」と約束して神戸空港に向かいました。とにかく、最高の旅行で、私たち家族にとって素敵な思い出になりました。

最後にこの旅行に行けた事に感謝しつつ、グランドフロント大阪にある建築物の写真を一枚つけて今回の旅行記を締めくくりたいと思います。



「建築士の日」イベント企画

札幌の景観

北区編

バスツアー

— 北海道建築士会 札幌支部 主催 —

●札幌支部まちづくり委員会 大茂谷優子・往田 協子・渡部 純子

「建築士の日」記念イベントとして、平成27年7月4日（土）に北区の札幌景観資産、歴史的建築物等の見学会を市民の皆様はじめ50名（会員外33名・会員17名）の参加をいただき開催いたしました。また、解説には札幌市景観アドバイザーであり、NPO 法人歴史的地域資産研究所機構代表理事の角幸博氏をお招きいたしました。

- ・明治14年、明治天皇行幸の小休処としても利用されました。
- ・玄関やベイウィンドウの上部の切妻屋根に十字飾りと開拓使の星のマークが付けられています。
- ・洋室と和室のつなぎ方は、稚拙というか素直というか、和室側から見ると洋風のドアがそのまま付けられています。
- ・造園設計はお雇い外国人の造園師、ルイス・ペーマーが担当し、こちらも和洋折衷です。
- ・その後民間に払い下げられ、別荘や社交場、下宿などに使われましたが昭和36年（1961年）札幌市有形文化財に指定され、昭和53年（1978年）に復元工事が完了しました。
- ・石造で小さな窓が中心だったヨーロッパでフラストレーションが溜まった為、ベイウィンドウと呼ばれる張出窓が生まれ、その後木造でも多く使われるようになりました。

①-2 偕楽園緑地
 北区歴史と文化の八十八選
 建設年：明治4年（1871年）



偕楽園緑地

- ・札幌最初の公園として開園した偕楽園の跡地。広い敷地にはサケ孵化場、育種場、工業試験場等の施設もありました。
- ・民間払い下げの後、平成14年（2002年）、偕楽園緑地として整備されました。

鉄西地区（車中見学）

- ・札幌駅から北12条通り迄、創成川から石山通り迄を鉄西地区と呼ばれています。北海道大学のキャンパスの他は古くからの住宅地で、築100年を超える博多ぶあいそ別邸（元松村松年邸）や、その他いくつかの古く瀟洒な邸宅や元質屋、旧市場、元醸造所の石蔵などを現在も見ることができます。今は飲食店になっている博多ぶあいそ別邸は明治35年、北海道大学松村松年教授の自宅として建てら

9

見学施設紹介

①清華亭・偕楽園緑地

①-1 清華亭

北区北7条西7丁目
 札幌市指定有形文化財
 建築年：明治13年（1880年）
 構造：木造平屋
 設計：開拓使工業局営繕課



清華亭

- ・和室と洋室を並べた和洋折衷様式ですが、外観は洋風の印象が強くなります。



ベイウィンドウの説明

れました。外観、庭廻り、玄関廻りに、昔の面影が残っています。



博多ぶあいそ別邸（元松村松年邸）

- 石の蔵ぎゃらりいはやしは元質屋の石蔵と母屋。石蔵は昭和5年築、火災にあったので母屋は昭和10年築。質店として昭和57年迄使われ、その後設計事務所利用等を経て現在に至ります。この地域は再開発地域になっていて、いずれは解体されることとなります。

② 藤学園 キノルド資料館・奉安殿 北区北16条西2丁目

②-1 キノルド資料館

北区歴史と文化の八十八選

建築年：平成15年（2003年）

構造：鉄筋コンクリート2階建



キノルド資料館

- スイス人建築家のマックス・ヒンデルが旧札幌藤高等女学校の校舎を設計しました。ヒンデルの北海道デビュー作です。校舎として使われた後大学クラブハウス等として使われ、平成13年惜しまれつつ解体。平成15年一部を再現、建具も一部再利用され資料館として建てられました。



キノルド資料館 内部2階

- 藤学園はドイツより来道した3人の修道女により1925年に設立。今年90周年。当時の司教の名前から、建物はキノルド館と呼ばれるようになりました。
- 資料室には藤学園のキノルド記念館解体のいきさつも含めての歴史と、解体された記念館の模型等が展示されていました。

②-2 奉安殿（マリア堂）

建築年：昭和10年（1935年）



奉安殿（マリア堂）

- 戦後、藤学園が「日本が負けた途端に建物までも壊してしまうのは生徒への教育上良くない」と訴え、解体を免れました。現在はマリア像を奉納し、「マリア堂」と呼ばれています。
- 平成23年に修復され、きれいになっています。柱はドーリア式のオーダーで下の部分は洗い出し仕上げです。今では洗い出しが出来る技術者がいません。壁は昭和初期に良く使われたスクラッチタイルです。

③ 篠路駅周辺の倉庫群

北区篠路3条7丁目

さっぽろ・ふるさと文化百選

建築年：昭和9年（1934年）以降

構造：石造平屋、煉瓦造平屋



篠路高見倉庫

- 昭和9年、国鉄札沼線が開通し、篠路駅が出来てからタマネギ等の倉庫が建ち始めました。昭和30～40年代、タマネギ生産の急増とともに、倉庫も増えました。
- 再開発事業の為、西側地区の煉瓦倉庫は取り壊されましたが、東側の地区は軟石倉庫を中心に健在です。迫力と見応えのある倉庫群です。
- 地域の産業史を語る上で重要な倉庫群ですが、札幌市の再開発計画では残す計画はありません。



レンガ倉庫

④百合が原公園（昼食）

北区百合が原公園210

造成開始：昭和53年（1978年）



⑤屯田郷土資料館

北区屯田5条6丁目

北区歴史と文化の八十八選



屯田郷土資料館

- 明治22年（1889年）、札幌では4番目の屯田兵村が篠路村、現在の屯田地区に出来ました。資料館には、往時を偲ばせる屯田兵に関する資料が展示されています。
- 展示されている屯田兵屋は、明治22年、現在の屯田6条2丁目382番地に入植した佐々木高熊一家が明治37年頃まで生活し、後に佐藤健次郎氏が譲り受け、昭和3年～22年まで住宅として、その後、納屋として使用されていました。屯田開基百年にあたり復元されました。



展示されている屯田兵屋



屯田兵屋の内部

⑥新琴似屯田兵中隊本部・

新琴似神社境内

北区新琴似8条3丁目

札幌市指定有形文化財

建築年：明治19年（1886年）

構 造：木造平屋

設 計：屯田兵事務局



新琴似屯田兵中隊本部（新琴似神社境内）



新琴似屯田兵中隊本部の内部

- 札幌に残る唯一の屯田兵中隊本部の建物です。屯田兵は軍隊であるのと同時に、日常的には農民であり、中隊本部は軍の役所と村役場の兼ねるような役割を果たしていました。
- 建物全体としては、実用的な建築で装飾も少なく素朴な佇まいですが、重厚さと威容さが感じられます。昭和47年（1972年）に復元され、昭和49年（1974年）に札幌市の有形文化財に指定されました。
- 時計台で知られる「バルーン・フレーム」と呼ばれる建築技術を使っています。これはアメリカ中西部の開拓期に流行した構法と言われています。今回は特別に小屋裏に入れて頂き、見学することが出来ました。

II

- 昭和天皇陛下在位50周年事業として公園造成が採択。当初の名称は東北公園。昭和58年（1983年）、百合が原公園に改称、供用開始され、昭和61年（1986年）には「'86札幌花と緑の博覧会」会場となりのべ147万人の人で賑わいました。
- 元々篠路農業協同組合長の中西さんと他の方の農地で、公園内に残る展望台サイロはその名残です。



展望台（サイロ）

- サイロは築50年を越えており、改修、活用をしている点では大変意義深いものとなっています。



小屋裏（バルーン・フレーム）の見学

- ・新琴似神社境内には多くの石碑があります。新琴似兵村記念碑・馬魂碑・拓魂碑・開拓記念碑等々、開墾の歴史への想像が膨らみます。



新琴似兵村記念碑

⑦安春川散策路

北区新琴似5条1丁目～10丁目
北区歴史と文化の八十八選



安春川散策路を歩く

- ・屯田兵によって灌漑排水路として造られた安春川が、宅地化とともに水枯れ状態になっていましたが、その後、創成川の下水処理水高度処理水を流すようになりました。
- ・遊歩道や親水広場が整備され、憩いの場となっています。野生のマガモが生息している環境の中、子供達の遊ぶ姿も見られました。

⑧近藤牧場

北区新川694

さっぽろ・ふるさと文化百選
建築年(木造サイロ)：大正14年
(1925年)

- ・珍しい木造のサイロは牛舎と石造

のサイロが並び、住宅地の中に牧歌的風景が広がっています。



近藤牧場（軟石と木造のサイロ）



木造のサイロ

幌北地区（車中見学）

- ・昭和2年(1927年)北海タイムス社(現北海道新聞社)が「札幌飛行場」を設置しました。国策会社への統合後、戦争激化と共に軍用飛行場になりましたが終戦で閉鎖、現在は門柱のみが残っています。また、飛行場防風林がそのまま北27条公園通りとして整備されました。
- ・幌北地区では戦後、国策で木造長屋の引揚者住宅が建てられました。その後、管理が札幌市に移り、近隣に店舗が増えたので1階をテナントとした「市営住宅」が昭和37年(1962年)に建築されました。現在、居住者はいませんが、札幌市内に現存する最古の市営住宅です。建替が進められており、高層で最新鋭の市営住宅も並び、新旧の市営住宅を見る事が出来る最後の機会に近いとも言えるでしょう。

参加者の感想

- ・普段行けない場所を見学でき、大変ありがたかった。角先生の説明も行き届いていました。

(60代・男性)

- ・清華亭では和洋折衷のことについて詳しく知ることができましたし、屯田兵中隊本部などでは柱を使わない昔のやり方を知ることができて勉強になりました。藤学園も普段は行くことがないのですが、歴史について知ることができ、とても良かったです。

(20代・男性・学生)

- ・ヒンデルの作品が解体され残念。角先生あつてのツアーです。今回も大変勉強になりました！ありがとうございます。(40代・女性・教員)
- ・札幌市に住んでいてもなかなか見る機会がないところを見学させて頂きとても良かったです。

(60代・女性)

- ・今回も個人としてはなかなか行けない所で、選定が大変良かったです。(70代・男性)
- ・角先生の説明とても解りやすく、勉強になりました。札幌に住んで15年程、まだまだ知らないこと、行ったことのない所があり、このようなイベントで知ること事ができ、楽しみが増えました。次回もよろしくお願い致します。

(70代・女性)

- ・少し寒い日でしたが、北海道、札幌の歴史的建造物も100年以上となり、角先生がおっしゃるように歴史継承への検討の必要性が大切になっていくと感じました。近藤牧場、最高です。

(40代・女性・建築関係)

7月にしては、少し肌寒く一時雨も降りましたが、参加者からは感謝や労いの言葉を多く頂きました。また、今回は北大とともに発展した近辺の古くからの住宅地、篠路屯田新琴似の屯田兵開拓の歴史、酪農畑作の産業遺産を見て廻り、歴史が凝縮している札幌に改めて感じ入り、先人達の営みに想いを馳せることが出来ました。

青年のページ

青年委員会 HP : <http://h-ab.com/sapporo/seinen/> 青年委員会のブログ : <http://hokkaido-sapporoshibu-seinen.blogspot.com/>

「EBRI (エブリ) 江別旧ヒダ工場

プレオープンイベント建築のお仕事体験」

札幌支部青年委員 吉田 徹

レンガ製造によって大きく発展した街「江別」。その歴史を物語る「旧ヒダ工場」において平成27年12月13日快晴の中、「EBRI (エブリ) 江別旧ヒダ工場」のプレオープンイベントを開催いたしました。

子供を対象とした「建築のお仕事体験」と大人を対象とした「色彩セミナー」を開催し「EBRI 江別旧ヒダ工場」が江別の街のシンボルとして身近な施設となるようPRを行いました。

当会が今回のプレオープンイベントの一つを行うに至った経緯として、「旧ヒダ工場」の保存再生プロジェクトを行っているストアプロジェクトさんからお声をかけていただき共催することとなりました。

また、今回の会場は、平成26年4月19日に行われた青年委員会による第1回道央ブロック協議会において利活用のワークショップとして利活

用事業の収支計画シミュレーションなどを行った施設であり当委員会としても関わりのある建物でもあります。



建築のお仕事体験

子供たちへ建築士とはどのようなお仕事なのかを体験してもらうために「レゴブロックで街を作ろう」「パズルでお部屋を考えよう」「ストロータワー」を行いました。それぞれの仕事の難易度に応じて、イベント仮想通貨「チーク」を子供たちにお仕事のお給料として手渡しました。

「チーク」は会場内に出店している駄菓子屋さんで様々なお菓子と交換することで、働くことの大変さと面白さを体験してもらいました。

「レゴブロックで街を作ろう」

机の真ん中で山のように積み重ねられているレゴブロックを使って自由に建物や構造体を作り、レゴの街に配置してもらいました。

子供たちは、それぞれ独特な感性



で自由に作ってご両親や兄弟、友達と楽しんでいるようでした。

また、完成した建物をレゴの街に配置することで、大きな達成感を感じている子や他の子が作った建物との違いを比較している子、街の中での自分のストーリーを考えている子など子供一人ひとり様々な思いを感じていました。

「パズルでお部屋を考えよう」

土地が描かれた台紙にシールになっている部屋のパーツを切り貼りして自由に家の間取りを考えてもらいました。

ご両親や友達と色々相談しながら考える子や一人でもくもくと作業をする子など様々なスタイルで取り組んでいました。間取りを考える上で子供たちの中で様々なロールプレイングを行い試行錯誤しながら何度もシールを貼り直し決まった答えが無い物を考える難しさを感じていました。完成すると自分の考えが形になる楽しさを実感するとともに大きな達成感を感じているようでした。

「ストロータワー」

ストロー（構造体）とゼムクリップ（ピン）で接合し立体的な造形物を作りどれだけ大きく高い建物を作れるかを体験してもらいました。

スタッフのアドバイスを基にご両

親と一緒にトラス構造やブレースといった構造的な理屈を知らなくても三角形が安定するという感覚的なもので構造を学んでいました。子供たちの中には、色々な形に応用して台形状の物を作ったり、六角形の大きな形状の物を作ったりと様々な楽しみ方をしていました。

「色彩セミナー」

子供たちのお仕事体験イベントに併せて大人向けの色彩セミナーも開催しました。講師にはアメリカ代表の田中講師をお呼びして「パーソナルカラーセミナー」と「塗絵で色彩心理診断」のセミナーを開催し多くの方にご参加いただきました。



イベント開催を終えて

今回のお仕事体験イベントは、多くの皆様にご参加いただきました。12時～17時の短い時間ではありましたが350人以上の方にお越しいただき大盛況に終わりました。

EBRI（エブリ）江別旧ヒダ工場が2016年3月下旬のグランドオープン以降も江別の情報発信拠点及び商業施設として多くの皆様に愛される

施設となるよう願っております。

私は、昨年からは建築士会及び青年委員会の活動に加わり、今回のようなイベントには初めて参加させていただきました。仕事では得られない貴重な体験をさせていただき、子供たちからたくさんのお話を学びました。

今後とも、誰かに何かを与える側となれるよう積極的に参加させていただきたいと思っております。

インド旅行紀

「三島由紀夫は言っている。
世の中には2種類の間人がいる。」

交流委員会 佐々木 正行

昨年の11月の下旬に、4泊6日で初めてのインド旅行へ行って来ました。世界遺産を巡る建築士らしい研修旅行。話は尽きぬ、何かとびっくり、歴史の偉大さを感じた6日間でした。

1日目 千歳空港で出国手続きを済ませ、13:30発の中国東方航空にていざ經由地上海へ。21時頃何事も無く空港へ、ところが乗り継ぎ便が4時間遅れ「早速やってくれたね」。仕方が無く夜中にご飯を食べにレストランへ。意外や結構お高いので、韓国料理の安い物でビールを飲む。なんやかんやでようやくデリー空港

へ到着…朝でした。疲れた。

早速事件勃発。一緒に行ったメンバーの手荷物が空港へは届かず、しかも2名も。足止め2時間、眠い。予定のホテルに着いたが、寝る暇も無く着替えのみ、2日目のバスへと予定だけは進んでいく。

2日目 バスの中でホテルで用意してくれた「やっぱり」カレーの朝食を頂き、いざジャイプールへと向かう。バスでの移動に5時間、ひたすら眠い目をこすり高速道を走る。「おお、インドはすごい」世界の牛の半分はインドにいるようだ？牛肉が食卓にのることは無く、もっぱら

チキンである。さらに「インドに交通ルールはあるのか」車は逆走してきた。しかし、インドの運転手は驚かず、軽くかわす(ありえねえ)。無事シャイブールへ。とにかく車の多さと牛の多さに驚き「風の宮殿」の街を視察？やはり足場に興味を持つ、足場はやっぱり竹でした。途中のバスの中で、見た建設中の建物は壁が無く、柱と梁とスラブだけのスケルトン。壁は後からレンガ積みにて仕上げるそうです。「理にかなっているのか」しかし10階建てにすれば、建物は「やせて、細いかな」大丈夫？

朝もカレー、昼もカレー、夜もカレー、中身は鳥のみ。豚肉食いてえービールが飲めたのは幸い。夜のディナーにインド舞踊を見てやっと一息です。お金は殆ど使っていないのは「何故だ」

3日目 ジャイプールの市内観光。世界遺産のアンベール城、シティー・パレス、世界遺産ジャンタルマンタルと流されるような視察？そして、変わらぬ朝昼晩と3食共カレーの食事(そろそろ飽きてくる)。生水は飲まない方が良い。ペットボトルの水を毎日1Lもって歩く。一緒に行ったメンバーも誰一人まだ、お腹の具合を訴えた人現れず(りっぱ！)。

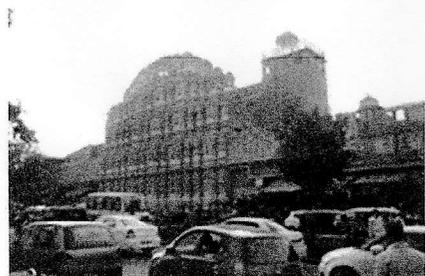
4日目 朝、カレーの食事をとり、バスでアーグラへ向け出発。約5時間の移動(遠いなあ)。世界遺産レッドフォードを視察、午後からアーグ



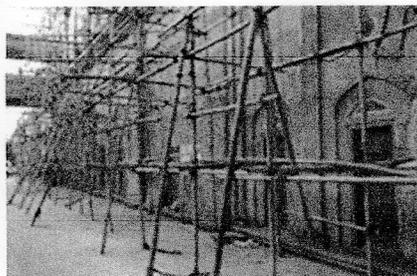
建設中の建物(壁は後からレンガ積)



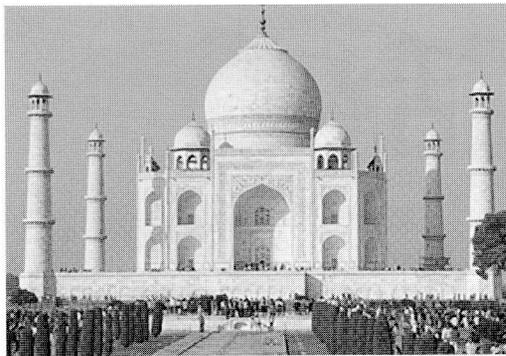
ディナーでのインド舞踊



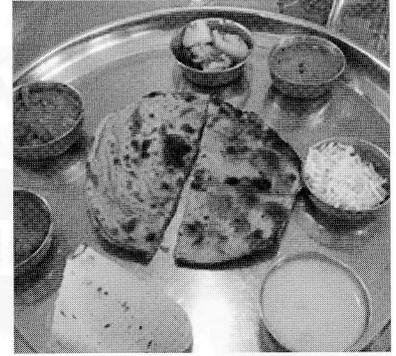
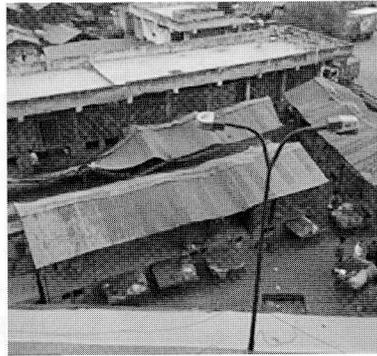
シティー・パレス「ハワー・マハル(風の宮殿)」



竹の足場



タージマハール



インドのカレー

ラ市内を観光そして、世界遺産ター
ジマハールを視察する。何処行っ
ても変なおじさん達がついて回り、
「写真を撮ってあげましょう」と100
ルピーを要求される。歩けばニーハ
オと声をかけられ（いらつく）、近
くに来て、「これしゅんえん」とお
土産を売りに来る。ひどいときには
バスの入口まで来る。

タクシー？（ジープっぽい）に乗
ると感心するくらい運転が上手であ
る。車間距離という言葉はインドに
は無いのである。前後は拳一握りで
止まり、狭い道でも車輪を半分下水
にはみ出し運転をする。スピードメー
ターはおそらく必要ない。インドで
はゴミ収集車は見なかったのど、ど
うしているのだろう。通りの裏に回
ると、割と朝が寒いせいか、ゴミを
燃やしていた。煙がひどく、朝起き
てみると（霧かい）スモッグがかな
りひどい。マスクは一日で黒いところ
が目立つくらいである。

インドの良いところを見つけ探して
みる。人なつっこい、ヒンズー教
の人たちが多く、仏教発祥の歴史の
深さを感じる。お酒は飲まない（自
分には考えられない）。酔っ払いは
見なかった。仏教のしきたりからく
る伝統舞踊、信仰心がある等々。

夕食に初めての中華料理、でもイ
ンドっぽい「酢豚」を注文する。肉は
豚では無いような気がした（あれは鳥
だ）。カレーには飽きていたが、イ
ンド風の中華なので、カレー食いてえー。

ワインも有ったが意外と高い品物であ
る。ホテルでの宿泊は最後となる。ト
イレの使い勝手がよく分からず、用を
たした後は、備付けのシャワー（掃除
用？）を手にとり、それできれいに
するようだ、トイレットペーパーを便
器に流したら詰まり、溢れそうになる。
「ワワワワ……」

5日目 最後のインド「アーグラ」
の日となる。「世界遺産アーグラ城」
を視察していざデリーへ向かうバス
で5時間、途中の高速道路に「おじ
さん」ヒッチハイク？「う、牛さん
昼寝？」まだまだ一日は終わらない。
世界遺産フマユーン廟・ラージガ
ート・世界遺産レッドフォード・世界
遺産クトゥブ・ミナールと市内を見
て回る。

インド名物のリキージャ（オート
三輪）（2人乗り人力車）にて回る。
現地の漕ぎ手？の人の脚は筋肉だら
け道路などルール無視の歩道、車道、
中央だろうが、端だろうがお構いな
し。逆走も有り「少し怖い楽しい」。



名物の『リキージャ』

車道は日本の3車線くらいだが、車
は5〜6列、自転車、オートバイ、
リキージャ、車何でも有り、信号は
少なく、殆どがロータリーで流れは
良いのが、不思議。

帰路へ 夜遅く（深夜0時頃）デ
リー空港へ。入国の際に荷物が出な
かった人のポストバックが空港に届
くどうも上海空港に置き去りになっ
ていたようだ。夕食に最後のカレー（ベ
ジタブル料理）を食べた。現地添乗
員の人はチップでこの先3ヶ月は働か
なくても生活が出来ると言っていた
（何ほど儲けたのか？）。搭乗員の日
本語が上手く、楽しい研修旅行でし
た。お金もさほど使わずインドを楽し
んだ日々でした。三島由紀夫は「世
の中には2種類の人間がいる。インド
に行ける人間と行けない人間である」
と言っていました。自分はおそらく、
行ける人間「性格が合ってるかも」
だと思っています。長い飛行時間をへ
て千歳に無事帰還です。カレーが好
きな人は、大丈夫です。



インドの車列

時には少々かたい話も



杭工事



小坂建築工房 小坂佳史

横浜で大手不動産会社販売のマンションで、杭工事が原因と思われる不同沈下発生。今迄も杭に起因すると思われる建物の不同沈下事象は起きている。

今回の事象を受けて、(一社)日本建設業連合会では、36頁にわたる既製コンクリート杭施工管理指針(案)一不具合の再発を防止するために一を出している。とても分かりやすく、現場及び設計監理担当者必携の指針であり、建設業界が真摯に向き合う姿勢が感じられる。しかし、建設業界だけに責任を押し付けてはならない。再発防止で重要なことは対応できる「人・物・金」が揃っていることが条件である。

「人」の問題は、コストダウンとは離れたところに位置しているが、設計及び現場にあって、杭耐力発現プロセス・仕様書・指針を理解している技術者・技能者を配置できているかである。

「物」の問題は、現場で臨機応変に杭の長さを容易に変更できないことである。既製杭は標準長さのものしか製作されていない。高強度PC杭の出現により、広く既成杭での設計が可能となり、現場の効率化が図れ、コストダウンと工期短縮に寄与している。しかし場所打ち杭や鋼管杭は、現場で長さ調節は容易であるが、高強度PC杭は、現場で切断・継足し等は容易ではない。低強度P

C杭の時代は、低止まりとなれば、フーチングからその杭だけを迎えに行くコンクリートを打設することや、高止まりとなれば、パイルカッターで切断しつつ、プレストレス減少部を補強する方法があった。杭は、頭部が最も曲げ応力を受ける。低強度PC杭の時代、杭頭曲げ応力の処理は、設計基準では特に示されていない。高強度PC杭の現在は、その応力をフーチング内で処理しなければならない。多少の低止まりであれば、フーチング全体を下げることで何とか対処可能となるが、数十cm以上となれば地下水位や土留めの問題も生じてくる。現場では、低止まり、高止まりは費用・工期的にご法度なのである。そのため長さ調整用杭として、0.5mそして1mピッチで長さ3mまで、新たに標準在庫としておくことを提案したい。短い杭は外殻鋼管としても良く、現場には使用するしないにかかわらず、事前に搬入しておく。杭の長さ調整は、曲げ応力の少ない先端部でおこなうことが望ましいが、やむを得ず杭頭部でおこなうこともある。そのためどこで継いでも良いように、長さ調整用PC杭はC種以上とし、現場での強度間違いリスクに対処していく。

「金」の問題は施主と、設計・設計監理技術者の姿勢にかかっている。地質調査はあくまで部分的に地盤が判明するだけで、杭長さを確定する

には杭本数分の地質調査が必要なのである。それができないので、杭ごとに施工データを取って確認している。現場で杭長さに設計変更が生じるのは当たり前。この常識を、今まで常識として認知されていないところに問題がある。施主側とは、発注時に設計変更発生時の概算増減額も協議しておき、事前に了承を得ることが必至であり、それが迅速な処置につながる。

私の記憶にある工事として、長辺40mの低層建物に、羽根付鋼管杭を使用。現場では、結果的に設計杭長より短い杭や、その3倍程度の長さの杭を用いる事となる。その時は即設計変更・工事費増の手配がされ、担当した構造設計者とも連絡取りつつ、迅速に杭手配を行い、工期に大きく影響を与えることなく無事施工している。遡及していくと、谷間を埋めて造成した地盤と判明。杭施工会社の力量に負うことの多い変更であり、関係者の「設計変更は当たり前」の姿勢があれば問題は起きない。現状の建設業法にあって、請負契約を「請け付け」と押揃される建設業は、一方的に批判を受け、常に弱い立場にいる。現場を知る者には、割り切れない思いもする。

建築工事の施主は民間が大部分を占めている。限りある資金で事業を遂行するため、発注に際しては、確認申請許可が下りる最低限の仕様で

よく、安価であることを最優先として挙げる施主も多い。その場合、構造強度の優先順位は末端に位置し余力など必要なく、経済設計と称するぎりぎりの手法が求められる。

マンション購入は一生に一度の買物と言われており、購入者は高いレベルの成果物を求める。他方施工側は、工事費・工期共に制約あり、まとまった完工高は見込めても、利益は見込めない物件の代表であり、積極的に受注に踏み切れない。このギャップを縮めることが、購入者の安心につながる。札幌にあって防寒上家無しでの冬期施工。温度補正のコンクリート強度アップと二次設計崩壊形。高さ45mにRC造で14・15層、柱梁接合部の鉄筋付着。構造スリット的设计思想と実際の施工状況等色々懸念される。公共建物等の構造強度は、建物用途により二次設計時強度を1.0, 1.25, 1.5倍アップとする用途係数の考え方がある。施工レベルにあっても3ランク程度の品質管理基準を設けるべきと思う。最初から公的な仕様書を適用できない工事が存在するのも事実であるから。

建築では先端支持力を重視し、長さ60m杭でも拡底杭とする場合があるが、それは杭を柱と見立てているためである。また杭先端付近平均N値は、設計時と現場で整合性が求められる。土木では打込み杭や場所打ち杭は、周面摩擦力も重要視しており、圧密沈下の無い地盤では、杭長20mを超えると杭種にもよるが、計算上杭先端面が負担する力は、支持力に対して30%以下となるものもある。よって杭が長くなると、拡底杭としてもその効果は小さい。土中の実際杭応力分布は、土木の設計に近いと言われている。杭周固定液は、周面摩擦力と地震時の水平抵抗の要素により強度は決められ、低強度であっても適正な品質管理は大切であ

る。最近では、土木も埋込杭では先端支持力発現に有効な拡底杭を、現場に合わせて使用してきている。土木はピン構造に見られるように、応力伝達機構は明確になっており、漏水に関しても、建築のように絶対許されない設計ではなく、無理に抑えないで末端処理を基本としている。そのため、ブロックごとの些少の不同沈下は許容され、構造的に悪影響は出ない。

最近目にした杭工事。建売住宅でオーガー搾孔後、6m杭をそろりと落とすだけ。軽打無し、プラント無しの為、根固め液や杭周固定液も無い。先端にバケツ1杯のセメントミルクを入れても300円程度、杭自重を利用しての上下動で軽打の代わりになる。杭周固定液は最低の僅か0.5N/mm²の強度で良いと思われるのだが、隣の区画ではそのまま根伐工事に入っている。

鉄骨造地階無しの6階建。5~6mの杭を所定の深さに埋め込めなく、幾度も建込・引抜・オーガー搾孔を繰り返している。以前隣接建物の基礎工事では玉石が数多く出てきて、現場内に専用機を入れて碎石処理もしている。かなりの転石があると思われ、オーガー搾孔はその都度深くなっていく。先端根固液とその4倍程度の容量がある杭周固定液はどう

なっている。その強度差は40倍。攪拌後の所定強度の確保は、全長にわたり先端根固液のみ使用していると思うが？

札幌では、液状化を起こす震度5以上の地震は、泥炭地以外観測されていないようであるが、清田区では火山灰使用の宅地盛土造成地であったためか、震度4で液状化現象が発生している。泥炭地ではない桑園地区で、工事に先立って遺跡調査をしたことがある。ここでは地表から1m位に2度の液状化の痕跡があり、下層にある砂層から地層の中を、上に向かって伸びる砂の筋が見える。幅は2cm位で砂粒の大きさは揃っていて、触るとさらさらと崩れ落ちてくる。その筋は当時の地表面で横に広がっており、更に年月が経ち新しい地層が上に生成された時、同じような砂の縦筋がその地表面に向かい、そこで横に広がっている。2つの高さが異なる砂の花火のようである。1度目の液状化時の想定地表面と2度目の液状化時の想定地表面の高低差は30cm前後。調査に携わっていた調査員に聞くと、1・2度目の層間は300~500年位の間隔とのこと。2度目と現地盤の地表面まで20cm前後。すると次は、誤差を考慮すると液状化を伴う大地震周期に入りつつある？



≡ 新入会員紹介 ≡

一原 寿寛 ホリゾン アーキテック
 河合 宏尚 カワイイケンチュク
 平山 圭吾 当別町役場
 齋藤 貴之 株式会社フィールド
 高橋 裕幸 (株)サン設計事務所
 水岡 裕貴 (株)水岡工務店
 石川 淳一 北海道公立大学法人 札幌
 医科大学 事務局管財課
 遠藤 大輔 (株)鈴木東建
 椿谷 敏雄 北海道建設部
 菅原万由美
 菊地 友也 (株)中山組
 河田 将和 (株)濱建
 今村 敏彦 三井不動産リアルティ
 札幌(株)
 芝木 千代 有限会社 芝木設計
 大町 清仁 (株)廣野組 札幌支店
 京谷 篤 札幌市役所
 小坂谷章一 (株)石山組
 麻植 亮平 丸彦渡辺建設(株)
 小島 英治 丸彦渡辺建設(株)
 猿橋 紀之 山崎建設工業(株)
 高原奈々絵 (株)川本鉄工所
 阿部 賢一 丸彦渡辺建設(株)
 福士 元康 丸彦渡辺建設(株)
 西川 和也 丸彦渡辺建設(株)
 高野 進一 丸彦渡辺建設(株)
 野上 裕志 丸彦渡辺建設(株)
 森田 光将 丸彦渡辺建設(株)
 蓮池 真也 hausgras(ハウスグラス)
 小野寺和久 (株)北海道建築総合研究所
 早川 渉 北海道公立大学法人 札幌
 医科大学 事務局管財課
 若山 千晶 (株)創建社
 岡田 幸生 (株)岡田設計
 前田 淳一 (株)岡田設計
 長谷川正和 (株)岡田設計
 澤口巖和生 (株)岡田設計
 大野 雄一 北海道庁
 大嶋 和人 日本都市設計(株)
 松藤 正博 日本都市設計(株) 道東
 事務所
 山口 浩行 (株)石本建築事務所
 吉田 繁治 吉田建築環境研究所
 田村 佳愛 北海道建設部住宅局

≡ 編集後記 ≡

2016年1月に行われた支部総会にて、長谷川敏文さんが新支部長として就任され、副支部長も4名から5名となり、新たな執行体制がスタートしました。

今回の『街』では、支部長、副支部長及び、各実行委員長の就任挨拶と意気込を紹介しています。

新体制についての「役員名簿」、「委員会機構図」を支部HPに掲載いたしましたので、そちらもご確認ください。

また、青年のページ「EBRI(エブリ) 江別旧ヒダ工場プレイベント 建築のお仕事体験」に関連しては、『街』2014.No.2(平成26年6月発行)青年のページ」でも、江別旧ヒダ工場と関わるキッカケとなったイベントの記事が書かれています。お手もとにまだ残っているという方は、今回の記事とあわせて、もう一度お読みになってみてはいかがでしょうか？

なお、今回号より『街』は、1月1日と6月1日の発行であったものから、4月1日と10月1日の発行へと変更になりました。今後とも情報委員会では会員の皆様へ、より見やすく解り易い情報の提供に努めてまいりますので宜しくお願いします。

(情報委員 川原 昌彦)

支部だより「街」

2016.No.1

平成28年4月発行

発行—一般社団法人北海道建築士会札幌支部

〒060-0042 札幌市中央区

大通西5丁目11番地 大五ビル6F

TEL (011) 232-1843

FAX (011) 222-0924

情報委員会

委員長/森田ゆう子

副委員長/宮川 耕介 柳山美保子

川原 昌彦

委員/内海 純一 安達あけみ

那須 豊治 首藤 一弘

星野 里英 岩浪 次郎

後藤 朋恵 片岡 哲二

馬場 将考 多田 幸

印刷—中西印刷株式会社

〒007-0823 札幌市東区東雁来

3条1丁目1-34

TEL (011) 781-7501

FAX (011) 781-7516